

I 調査の概要

■ 調査の目的

地域の皆様が主体となってお互いの助け合いによる福祉のまちづくりを目指し、みんなが進んで参加できる地域活動の推進を目的とした「安城市地域福祉計画」を平成16年に策定し、この度計画の見直し作業を進めているところです。

そこで、計画の見直しにあたり、より本市の実状に合う計画づくりに役立てる資料とするため、市内にお住まいの皆様から地域活動への参加状況や、福祉に関する考え方などの実態を把握するため、本調査を実施しました。

■ 調査設計

1) 市民アンケート

調査地域	: 安城市全域
調査対象	: 安城市にお住まいの18歳以上の方
標本数	: 3,000
抽出方法	: 学区ごとで無作為に抽出
調査期間	: 平成19年9月27日～10月14日
調査方法	: 郵送配布・郵送回収による郵送調査方法

2) 福祉関係者・団体向けアンケート

調査地域	: 安城市全域
調査対象	: 安城市の地域福祉に関わる各分野の団体 町内会、民生委員協議会、高齢者団体・施設、障害者団体・施設、 児童団体、小中学校、ボランティア団体、NPO法人、事業者、 その他福祉関係団体
標本数	: 229
調査期間	: 平成19年9月28日～10月14日
調査方法	: 郵送配布・郵送回収による郵送調査方法

3) 福祉まつりアンケート

10月21日に安城市で開催された福祉まつりにおいて、参加者にご協力をお願いし、アンケート調査を実施しました。

■ 回収結果

1) 市民アンケート

区分	配布数	回収数	回収率
総数	3,000	1,292	43.1%

※無効票はなし

2) 福祉関係者・団体向けアンケート

区分	配布数	回収数	回収率
総数	229	163	71.2%

※無効票はなし

3) 福祉まつりアンケート

福祉まつりの会場において、255名の方に回答していただきました。

■ 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効標本数（集計対象者総数）に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において、「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- グラフ及び表のN数（number of case）は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています